

環境学習アドバイザー派遣事業

●環境学習アドバイザー事業って？

環境学習を推進するため、環境分野の有識者（環境学習アドバイザー）を登録し、和歌山県及び県内の市町村、学校、事業者、住民団体等が実施する研修会、講演会、学習会などに対して派遣する事業です。

●環境学習アドバイザーってどんな人？

昆虫、植物や草木染め、海洋のごみ問題など環境に関する幅広い分野の専門家が活躍しています。

●事業内容について

今年度の派遣内容を2つ紹介します。

実施日：令和5年7月13日（木）

主催者：和歌山市立川永小学校

アドバイザー：有本 智先生

実施内容：講義「ビオトープ」とは何か？

現地調査

主催者の感想：生き物の生態について、現地で実際に昆虫採集や植物採集をしながら、教えていただきました。池づくりの目的や、ビオトープと養魚池の違い、昆虫が集まる庭づくりなどについてお話していただき、子供たちは植物や昆虫にも興味を持ったようでした。また、子供たちの急な質問や要望にも気さくに答えてくださり、子供たちは大変満足していました。今後の学習を進めていくための繋がりを作っていただき、ありがとうございました。

県の担当者より：「校内にビオトープの跡があるので、再生して子供達の学習の場にできないか。」という担当教員の思いから始まった事業でした。有本先生に相談すると快く引き受けてくださり、事業を実現することができました。



実施日：令和5年7月6日（木）

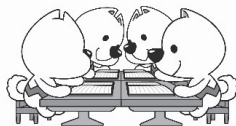
主催者：和歌山県立桐蔭中学校

アドバイザー：平井 研先生

実施内容：講義「SDGsについて」、2030SDGsカードゲーム

主催者の感想：講義の導入ではスライドを使い中学2年生にもわかりやすいように具体的にSDGsの概要を説明していただきました。次に3人1組で1つの国、その国が13カ国で1つの世界、その世界が2つあるという設定で80人が同時にSDGsの体験型カードゲームを行いました。先生の説明とゲームの内容が大変興味深く、生徒たちは時間を忘れてゲームに集中することができました。また生徒たちは積極的にコミュニケーションをとりながら各国のプロジェクトに取り組み、その結果、世界情勢がどのように変化するかを体験しました。その後の振り返りやまとめにより今後の生徒たちの考え方や行動に良い影響を与えることを期待したいです。平井先生には、大変感謝するとともに、来年度以降もお願いしたいと思います。

県の担当者より：桐蔭中学校は、例年、磯観察の授業で環境学習アドバイザーを活用されています。今年度はその事業に加え、新たな試みとしてSDGsについて学ぶ講義を依頼されました。主催者が同じでも同年度で2回まで活用していただけますので、ご活用ください。（学校の場合は、この限りではありません。）



★環境学習を実施されたい団体様は、一度ご相談ください。

和歌山県「環境学習アドバイザー」HP

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/gakusyu/adviser/gaiyo.html>

